

2020年2月26日

受験生のみなさん
受験生保護者各位

獨協中学校

2月1日午後2教科入試新設のお知らせ

獨協中学校では、2021（令和3）年度入試より、新たに下記の通り、2月1日午後、国語・算数2教科による入試を新設します。

記

1. 実施日時：

2月1日 第1グループ 14:45（集合） 国語 15:00～15:40 算数 15:55～16:35

第2グループ 15:15（集合） 国語 15:30～16:10 算数 16:25～17:05

* 出願時にいずれかのグループ（集合時間）を選択していただきます。

* 第1グループで申し込まれて、当日、集合時刻（14:45）に間に合わなかった場合は、第2グループの時間で受験していただきます。

* 遅刻は第2グループの1時間目の試験開始後20分（15:50）まで認めますが、終了時刻（16:10）は変更致しません。

2. 試験科目：国語・算数の2教科

3. 時間ならびに配点：各40分 各100点（計200点）

【国語：長文1題、算数：大問4題程度をそれぞれ予定】

4. 募集人数：約20名

5. 合否判定：2教科の合計点で判定する【教科ごとに足切り点は設けません】

6. 合格発表：2月1日 22:00

* これに伴い、各入試回の募集人数を以下の通り変更いたします。

2月1日 午前・4教科入試	2月1日 午後・2教科入試	2月2日 午前・4教科入試	2月4日 午前・4教科入試
約80名	約20名	約70名	約30名

* 午後入試を「国語・算数2教科」で実施する理由

本校の初代校長は「日本近代哲学の父」と呼ばれる西周（にし・あまね）先生です。先生は明治の開化期に「百学連環」と題した講義を行い、新たな時代の学びの方法として、様々な学問を結び付けながら学ぶことの重要性を説きました。その中で先生は、「文〔章〕学」と「数学」を、「様々な連環の土台となる諸学共通のロジック、メカニズムを学ぶ学問」と位置づけ、「他の学問に優先して学ぶべきもの」として重視しています。成熟期を迎え、高度にグローバル化した現代社会を生きる私たちは、今まで人類が直面してこなかった新しい課題と向き合い、多くの人々の知恵を持ち寄りながら最適解を探っていくことが求められています。こうした時代の中で、西先生が重視した「様々な学問知を結び付けて考えを広げ、深めていく」ことは、ますますその重要性を増してきていると本校は考えます。そこで、この新しい午後入試は西周先生を初代校長に持つ本校にふさわしく、先生がそうした学びの基礎と位置づけた「国語」「算数」の2教科で実施することとしました。

※その他、詳細につきましては、7月に「募集要項」のかたちで発表いたします。

以上